

第26回 書籍の紹介・・・新規事業を立ち上げるための合理的な考え方とは？

世の中は変わって行きますので、同じ事業ばかりをずっと続けていれば、工賃もジリ貧になっていくのは仕方ないことです(-_-)。一方、新しい事業を始めることには、リスクが伴います。特に設備投資や新規雇用を伴う事業は、失敗した場合の損失も大きくなります。思い付きや勢いだけで、事業の改廃や新設を判断することは、利用者さんや職員さんを大きなリスクに晒すことになりかねません(・_・;)。

そこで必要になるのが、「経営戦略」や「事業計画」です。こう書くと専門的で難しいもののように思われるかもしれませんが、そんなことはありません。経営学の予備知識はなくても、本気で事業を成功させ、利用者さんの経済的自立を目指す意志さえあれば、順を追って勉強することができます。

『事業計画書のつくり方（これ1冊でできるわかる CD-ROM付）』（渡邊卓著、あさ出版）は、類書も色々ありますが、その中でも版を重ねているロングセラーです。タイトルからは融資や補助金を受けるための安直なノウハウ本を想像されるかもしれませんが、オーソドックスな経営戦略論に基づき、そもそもどのような事業を立ち上げるか合理的に検討するための考え方から、具体的な計画づくりまで、きちんと説明している内容です。

工賃向上のために、新規事業を計画したり、現在の事業を根本的に立て直そうとされる場合は、この種の書籍が手元にあれば優れたガイドになるでしょう。読んだだけでも、経営戦略論の全体像がおぼろげに理解できると思いますので、一般就労を目指す方々に企業経営の考え方を知っていただくにも利用できます♪。

なお、事業の改廃などを検討するための経営戦略論の概要は、『「工賃向上計画」策定・実現ノウハウ集 第二部 実現へのノウハウ（平成27年度改訂版）』16ページ以下でもご説明しております。

<http://www.shougai-syuurou.jp/upload/2015050814310759812.pdf>